

令和6年度 事業報告書

就労継続支援B型

ワークセンターしおさい

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容
			参加人数	実施回数	
第1章 就労支援に関する事業	作業活動支援	令和6年4～ 令和7年3月	ウエス作業	延人数 1,334人 1日平均 5.1人 年間 261日 月平均 21.5日	利用者の希望を組み込み、また作業に飽きないように配置の見直しを定期的に行い、モチベーションを保っていただいた。 <結果> 今迄あまり携わらなかった方も参加するようになり、利用者の作業の幅が広がった。また取引先と連絡を密にとって資材の確保を図り、増産することができた。 総生産量 6,470kg 月平均生産量 539kg
			製麺作業	延人数 661人 1日平均 2.5人 年間 261日 月平均 21.5日	衛生面に注意し、商品の扱い方や清掃について重点的に支援した。計量や梱包についての報告にも力を入れた。 <結果> 衛生面・計量については随時確認作業を行い理解を図っていった。そのことで室内や機材の清掃・消毒などを自分から意識するようになってきた。 総販売量 20,244食 月平均販売量 1,687食
			弱電作業	延人数 594人 1日平均 2.2人 年間 261日 月平均 21.5日	支援計画に沿って作業配置を見直し、できる限り希望者が取り組めストレスを減らし作業できるよう支援した。 <結果> 他の作業とバランスを取りやすくなり、少人数でも効率よく作業を進めることができた。 総生産量 493,100個 月平均生産量 4,190個
			内職作業	延人数 257人 1日平均 1.6人 (10月迄) 年間 156日 月平均 21.0日 (10月迄)	補助具を使用しスポンジを布の袋に入れる作業・箱を組み立てる作業（現在は先方の都合で行っていない。） <結果> この作業に限って独語もなく集中して行う利用者もいた。箱の作業は初めに手順を決め、その後は各利用者がよりスムーズに行える手順を考えたり、箱の規格が数種類あり、それに対応することで応用力が付いてきた。 総生産量 スポンジ38,640組 箱作り 12,550個 スポンジ作業は4月から8月、箱作りは9.10月のみ

実施事業名			実施月	実施状況		主な実施内容
				参加人数	実施回数	
第2章 地域福祉推進・地域社会との交流に関する事業	地域行事への参加・地域社会との交流	地域活動への参加（イベントでの製麺販売を含む）	4.6.7.10.12 1	5 1	5 1	福祉の店イオンいわき店 洋向台マルシェ
		通常の製麺販売	通年		常時	<p><販売先：行政関係> いわき支援学校 福祉の店（いわき市役所本庁舎）福祉センター 東警察署 平地域包括支援センター 中央台公民館 植田公民館 総合教育センター 平地区社会福祉協議会 小名浜公民館 いわき支援学校くぼた校 長倉小学校 勿来高校 富岡支所 <販売先：企業> 松葉自動車 かなりとこや ららみゅう ホンダ はましん 常光サービス 丸克 ロダン ダイオーズ マツヤデンキ 常磐開発 そよ風ネットワーク フジパーツ <販売先：福祉関係> ぼおけらハウス かしま荘 東洋学園 わいの家 野の花ホーム つばさ カンナ 一歩 セカンドハウスわくわく 光の家 ふくださん家 みらいテラス 楽寿荘 のびっこらんど ちゅうおう台 虹のかけはし かべや作業所 のはら いわき母子訓練センター デイサービス喜んデイ なないろくれよん かしま荘 いきがい村 どりーむず アライブ ミント ときわ児童クラブ みによん ちゃーむ せんとらる はまなす荘 どんぐり やしおみ荘 天真庵 レジデンスなこそ ふじみの園 他</p> <p><結果> 他の作業とバランスをとり、今年度も少人数で販売を行った。その事で顔なじみになり、客の方から指名されて販売へ伺い、客から計算や商品の扱いを習い良好な関係を築いている利用者が複数名できた。また地域への出店を増やし、社会生活についての知識も徐々にではあるが得ることができていた。</p>

実施事業名			実施月	実施状況		主な実施内容
				参加人数	実施回数	
第2章 の交流に関する事業	地域行事への参加・地域社会との交流	外出状況	4月～3月	全員対象	随時	製麺の販売、納品等
		支援学校生自習等	11月	1	3日	いわき支援学校高等部 3年生
			1月	3名	4日	いわき支援学校高等部 1年生
		施設見学者	8月	1名		いわき支援高等部生徒
9月	1名			一般男性		
1月	20名			みなみテラス職員・利用者		
第3章 に関する事業	利用者・・血圧体重測定 職員・・健康診断	4月～3月	全員	随時	利用者個々の心身状況の健康状態をチェックし、毎月のバイタルを把握した。 <結果> 健康診断の結果、就労不可となる項目に該当する者はいなかった。	
		4月～3月	全員	随時		
第4章 事故防止に関する事業	消防用設備点検 避難訓練	4月～3月	全員	毎月	<p>建物管理者による点検 地震、火災、津波、土砂災害を想定した避難訓練</p> <p><結果> 色々なシチュエーションで訓練を行ったり、その災害に対する質疑応答を組み入れることで意識付け・理解を図った。まだ利用者の災害に対する意識は低いが今後も継続していく。</p>	

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	
			参加人数	実施回数		
第5章 会議及び 監査に 関する 事業	会議	4月～3月	全員 毎月 全員 毎月 全員 2回 担当者 随時 担当者 2回 2回 2回 全員 1回 全員 2回 全員 2回 全員 1回 管理者 随時 全員 1回 担当者 2回	毎月 毎月 2回 随時 2回 2回 1回 2回 2回 1回 随時 1回 2回	職員会議 工賃アップ会議 ケース会議(8月、1月(2回)) サービス担当者会議 法人権利擁護委員会(5月、11月) 権利擁護委員第三者委員との懇談会(7月・2月) 個別支援計画会議(3月) モニタリング会議(9月、3月) 工賃評価会議(9月、3月) サービス評価会議(3月) 就労継続支援B型事業所連絡協議会 次年度事業計画策定会議(2月) 法人内部監査感染症委員会(7月、12月)	
	監査	9月		1回	法人内部監査	
第6章 研修に 関する 事業	研修	法人内研修	9月 9・11月	全員 全員	権利擁護研修 off-JT研修を受けての伝達研修	
		法人外研修	9月 11月	1名 1名	障がい者虐待防止研修(実践編) 障がい児・者の防災、避難講座 異常気象による災害に備える	
第7章 虐待防止 に関する 事業	苦情・ 虐待	苦情	6月・8月・11月	3件 1件	利用者間の関係 法人事業所から製麺に対する苦情	
第8章 行事に 関する 事業	一般 行事	一般行事	4月 8月 12月 2月	10名 10名 10名 10名	1回 1回 1回 1回	お花見(いわき公園で花見をしながら施設内の散歩) 暑気払い(いわき石炭化石館ほるる見学) クリスマス兼忘年会(ボーリング大会) 新年会(アクアマリンふくしま見学)

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容
			参加人数	実施回数	
第8章 業 行事に 関する 事	販売行事	10	2	1	とみおかふれあいフェスタ2024
		10	1	1	第16回中央台公民館祭り
		11	1	1	富岡えびす講市
		11	1	1	遠野地区文化祭
その他	通所方法				徒歩 1名 施設送迎 7名 計10名
	利用状況				利用開始者 0名 利用終了者 0名
保護者への状況報告		連絡帳、送迎時、電話を利用して一日の様子や作業の状況報告を日々行った。また体調面においては特に注意し、必要時には通院や服薬のお願い等お願いすることで、利用者本人の体調管理にもご協力頂けた。			